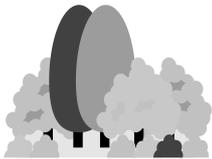


# ちば里山新聞

(第26号)

編集・発行 NPO法人ちば里山センター  
 袖ヶ浦市長浦拓2号 580-148  
 電話 0438-62-8895  
 題字 倉島 貴浩  
 (ワークホーム里山の仲間たち)



## 森林づくりの理論と体験 ～平成22年度里山公開講座～



森林研究所では、県民による里山の保全・整備・活用の支援を行うため、平成16年度から7年間にわたり里山公開講座を開催してきました。この公開講座は、(社)千葉県緑化推進委員会とNPO法人ちば里山センターとの共催で行ってきたもので、放置され変化しつつある千葉県の里山を、目的を持って整備・活用することを考え、それを参加されたみなさんとともに実践するというものでした。

公開講座が始まった平成16年は、県内各地の里山活動団体が活動を始めた時期であり、当時のアンケートでは、作業指導や森林調査、管理技術に対する支援を要望する団体が全体の約4割を占めていました。そこで、これらの要望に対応するために、里山整備の進め方やその実践を中心に公開講座を行ってきました。各団体の活動はさまざまですが、7年間の公開講座の中でいろいろな活動のヒントを得ていただけたのではないかと考えています。なお、公開講座の内容は、里山活動のガイドブックとして森林研究所のHP (<http://www.pref.chiba.lg.jp/laboratory/forestry/jouhou/download.html>) からダウンロードできますので、どんどんご活用ください。

公開講座は今年度をもって終了しますが、今後は別の視点から里山活動を支援していきたいと考えておりますので、引き続きみなさまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(千葉県農林総合研究センター森林研究所 福島成樹)



毎木調査の実習



芽かき作業の実習



森林土壌の観察

## 研究成果発表は2月3日の予定

開校式では(社)千葉県緑化推進委員会常務理事 日暮 規夫氏のご挨拶に始まり、午前は座学、午後は実践を通して学びました。

第1回、2回は森林研究所が会場でしたが、第3回安全研修ではワタミの森が会場となりました。

2011年2月3日に研究成果発表会が予定されております。

詳しくはちば里山センターまでお問い合わせください。



里山公開講座開講式

# 里山活動団体として、初の「森林整備によるCO2吸収量認証制度」認証です。



平成22年11月10日、里山活動団体「おとずれ山の会」と支援者「株式会社ひらい」が木更津市内の里山で実施している森林整備によるCO2吸収量を、千葉県の「森林整備によるCO2吸収量認証制度」により認証されました。今回は、県の里山活動協定認定制度に基づき、里山活動団体（里山活動協定認定団体）と支援者（里山活動を支援する地元企業）が協働して森林整備を行ったものとして、はじめての認証となります。

写真左より  
株式会社ひらい 夏井常務  
千葉県農林水産部 重田部長  
おとずれ山の会 高橋監事

## 【参考】「森林整備によるCO2吸収量認証制度」の概要

- ・平成21年8月21日に運用を開始した千葉県独自の認証制度
- ・企業等の森林整備への参画促進のため、県民の関心が高い地球温暖化防止の観点から、県民、団体、企業が計画的に整備をする森林が吸収するCO2量を、知事が評価・認証する。  
(特定非営利活動法人ちば里山センターは千葉県の委託業務としてサポートに取り組みました。あとに、続いて取り組みをお考えの皆様、お気軽にお問い合わせください。)

## 袖ヶ浦市が公募した「第一回景観まちづくり賞」

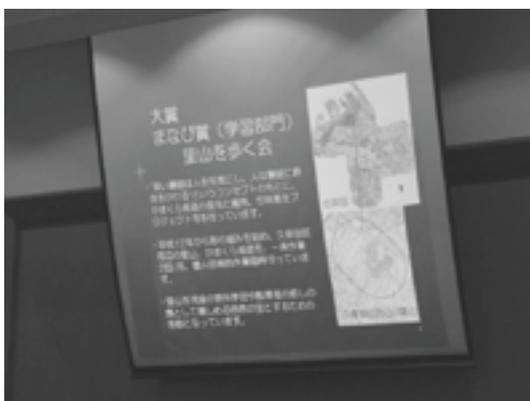
# 里山活動団体「里山を歩く会」が「第一回景観まちづくり賞」大賞受賞

「里山を歩く会」はみごと大賞を受賞し、その表彰式が長浦おかのうえ図書館で行われました。受賞にあたっては地権者の方々をはじめ地域住民の理解と協力があったとのこと、関係各位にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



今年が会ができて10年目の節目の年。

代表のWさん宅の庭には今年、瑞兆とも言われる（奥さん談）オニフスベというバレーボール大の巨大キノコが出現していただけに、最高のかたちで2010年を終える事ができそうです。



出口袖ヶ浦市長より賞状を受け取る代表

「大賞」と合わせて「まなび賞」も受賞したので賞状は2枚、これが上質なもので100年は軽く持ちそう。紙袋の中身は立派な額でした。

日頃の取り組みを評価していただき感謝しています。（代表 若本氏）

# 取 組 み 紹 介

## NPO法人しろい環境塾

～「里山を生かしたまちづくり」を目指して～

白井市の60%を占める緑豊かな里地里山を、次世代に残したとの思いから活動を始めて10年、今では、7.3ヘクタールの樹林地及び生産農地に復元した田畑3.6ヘクタールを管理するまでになりました。9月26日には、関係者200名の出席をいただき、創立10周年記念式、記念講演(堂本暁子氏)、記念フォーラムを開催することができました。

2000年3月、「見て、考えて、行動する」をスローガンに、先ず、白井の環境を調べる(環境ウォッチング19回)ことから始め、その結果をもとに、翌年から樹林地の手入れ及び子どもの環境教育を始めました。

今では会員130名、6事業部、1管理部の組織になりましたが、この10年間多くの壁にぶつかる中で、正面から課題に取り組み、地元の協力を得ながら克服し、結果として、事業が拡大することになりました。里山保全活動をすればするほど大量に発生する間伐材をどのように処分するかを考える中で炭焼事業、竹細工事業、チップ化活動等が始まり、農業支援活動は、里山保全活動を行っている中で目にする眼下の谷津田等の荒廃を見過ごすことができないとの考えから始まったものです。

事務所を持たないほどの活動資金不足でありながらも私たちは、

- ① 耕作放棄地を開墾しての「里山の生きもの復活作戦」
- ② 「里山景観づくり」
- ③ 企業のCSR活動の受入れ
- ④ 多くの市民が活動に参加できるシステムづくり等、新たな課題に取り組み始めています。

しろい環境塾の大きな特徴は、既存の村落の真ん中で、日常的に農家の方と交わりながら活動していることだと思っています。今後、農家の人たちがかかえる課題を一緒に考えながら「里山を生かしたまちづくり」活動を進めて行きたいと考えています。

(NPO法人しろい環境塾 事務局長 上西 忠)



創立10周年記念フォーラム(9月26日)



耕作放棄田の復田作業



耕作放棄畑の生産農地復元作業



田んぼの学校・稲刈り



特別保全緑地の整備作



手入れした森で環境教育



## ちば里山センター会員団体の[今後の行事予定]



1月15日	・プラネタリウム ズームアップ「星団」 ・～森で発見しよう～「星空観察会」 (君津亀山少年自然の家)	1月15日 ～16日	～木のおもちゃ屋さんになろう!～ (NPO法人千葉自然学校)
1月29日 ～30日	シヨブマスター「羊飼いになろう!」 (NPO法人千葉自然学校)	1月9・13・ 23・25・29	味噌作り 地元の大豆・コシヒカリで仕込み (谷当工房)
2月5日	第33回白井環境講座 「かえるでにぎやかな街市川、ホテル飛ぶ学校ピオトープ」を目指して(しろい環境塾)	2月12日	チェンソー技術・安全講習会 (しろい環境塾)
3月5日	白子町海岸松林の散策と苗木の植栽 (九十九里海岸の松林を守る会)	3月20日	野鳥観察会 (ちば里山センター・千葉県自然観察指導員協議会)

平成22年度「森林づくり国民運動」推進事業助成事業

### ～里山サポートシッププログラムとエコツーリズム～

#### 里山見学体験会

- ・おもいっきり! 里山体験1 平成23年1月12日(水) いちはら里山クラブ活動地
- ・おもいっきり! 里山体験2 平成23年1月15日(土) 桜宮自然公園をつくる会活動地  
(特非)さんむ環連協活動地

#### 里山エコツーリズムと交流会議

- ・里山ウォーク・ウォーク 平成23年2月8日(火) 安馬谷里山研究会活動地

#### 里山交流会議

※2月中旬には企業・団体様と活動団体様の交流会議を行います。ぜひご参加下さい。

～安全研修～ 里山活動を安全に行うための安全確保研修です。

「平成22年度森林づくり国民運動推進事業助成事業」

開催日	開催エリア	開催場所
平成23年 1月24日(月)	船橋市	豊富どんぐりの森

各回共通・・・参加費 ¥1000(保険代・資料代など)

## 研究結果発表会

さんぶの森文化ホール 最終日 平成23年2月3日

※詳細については、ちば里山センターホームページをご覧ください。

※参加お申し込み・問い合わせ先

特定非営利活動法人 ちば里山センター

TEL 0438-62-8895 FAX 0438-62-8896

e-mail: info@chiba-satoyama.net

